

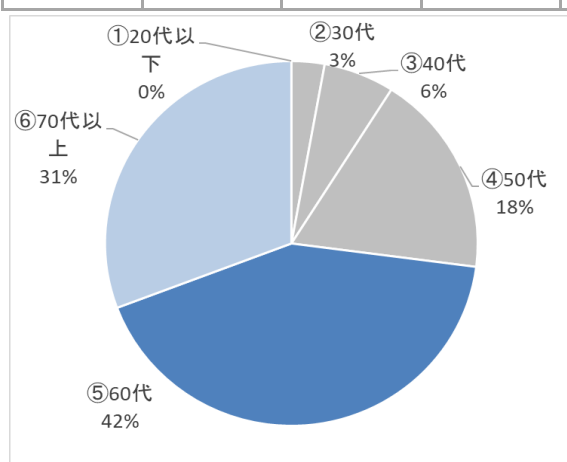
協働のまちづくりアンケート 集計結果

- ・実施期間 令和元年9月～11月
- ・対象 まちづくり協議会役員・会員、コミュニティセンター長・センター職員、市職員等
- ・回答数314 (配布数750)

属性 (問1、2、5は、まちづくり協議会所属のみの数で集計している)

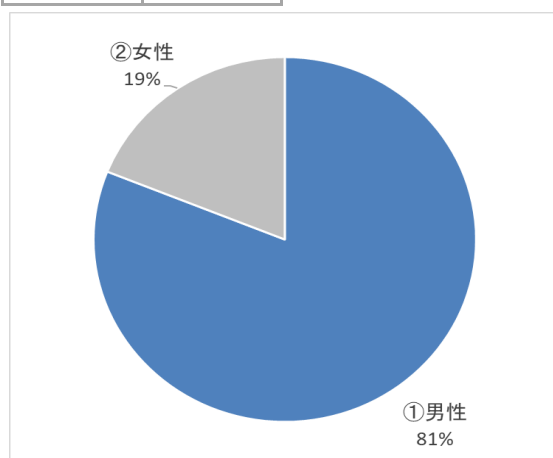
問1 あなたの年齢(年代)は。

①20代以下	②30代	③40代	④50代	⑤60代	⑥70代以上
0	7	15	44	103	75



問2 あなたの性別は。

①男性	②女性
197	46



問3 あなたのお住まいは。

①三国町	②丸岡町	③春江町	④坂井町	⑤市外
106	83	73	63	0

問4 あなたはどの組織に属していますか。

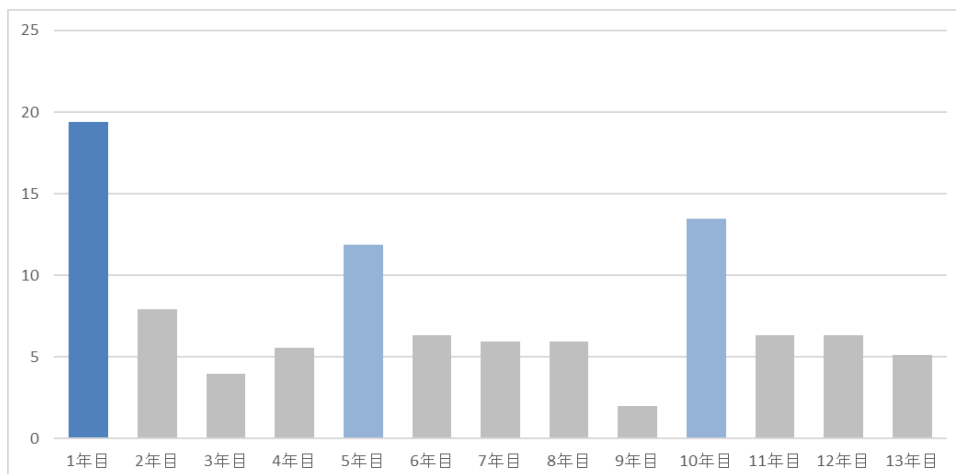
①まちづくり協議会	②コミュニティセンター	③市
261	54	10

回答者の属性について

- ・年代は、60代が一番多く(42%)次いで70代以上(31%)、50代(18%)となっている。
- ・60代70代併せて70%以上となっており、回答したまち協メンバーの高齢率の高さが見てとれる。
- ・性別は、男性が81%と女性(19%)より圧倒的に多くなっている。

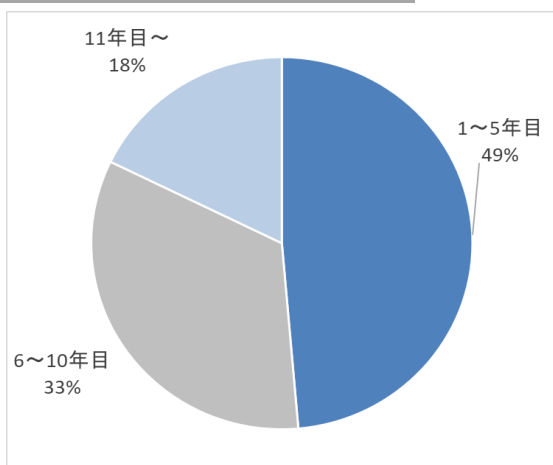
問5 組織に属して何年目ですか。

1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目	10年目	11年目	12年目	13年目
49	20	10	14	30	16	15	15	5	34	16	16	13



※所属年数5年ごとの数

1～5年目	6～10年目	11年目～
123	85	45



回答者の属性について

- ・組織に属する経験年数では、1年目が一番多く次いで10年目、5年目となっている。
- ・年数5年ごとの括りで見ると、1～5年目が一番多く49%と約半数を占めている。
- ・11年目以降も18%と、まちづくり協議会設立当初あたりからのメンバーも20%程度見られる。

協働のまちづくりについて

問6 協働のまちづくりを進めるうえで重要と考えるものを、次から3つ以内でお答えください。

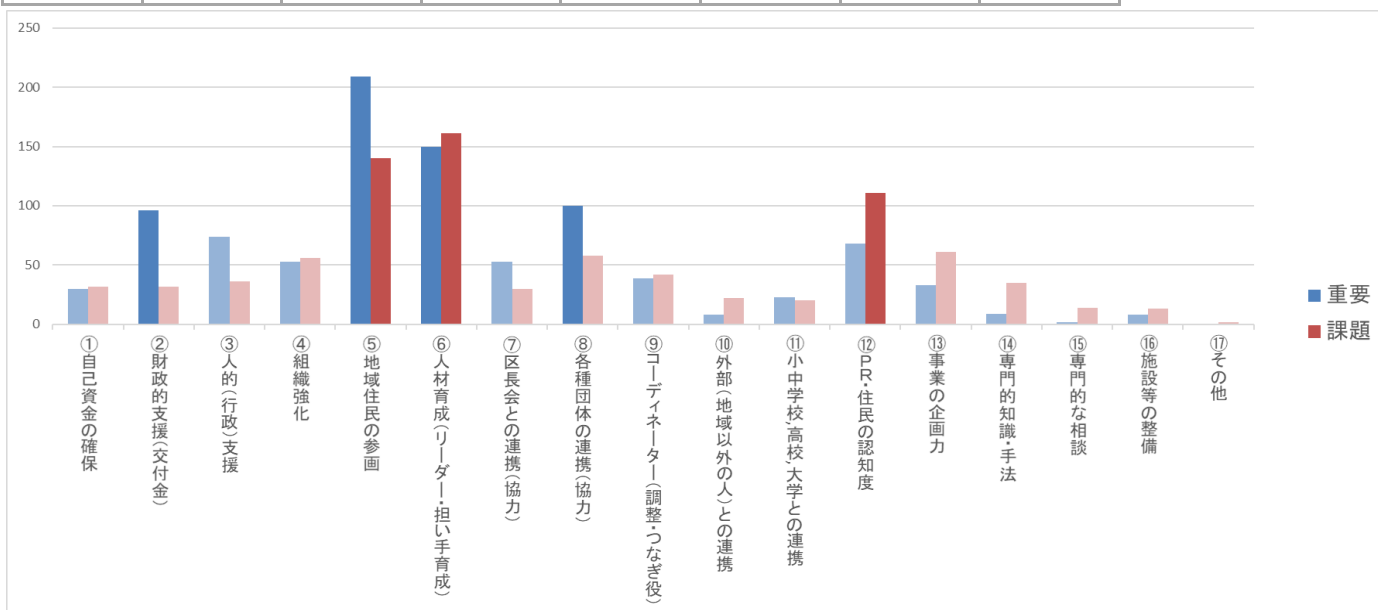
①自己資金の確保	②財政的支援(交付金)	③人的(行政)支援	④組織強化	⑤地域住民の参画	⑥人材育成(リーダー・担い手育成)	⑦区長会との連携(協力)	⑧各種団体の連携(協力)	⑨コーディネーター(調整・つなぎ役)
30	96	74	53	209	150	53	100	39

⑩外部(地域以外の人)との連携	⑪小中学校,高校,大学との連携	⑫PR・住民の認知度	⑬事業の企画力	⑭専門的知識・手法	⑮専門的な相談	⑯施設等の整備	⑰その他
8	23	68	33	9	2	8	0

問7 協働のまちづくりを進めるうえで課題となっているものを、次から3つ以内でお答えください。

①自己資金の確保	②財政的支援(交付金)	③人的(行政)支援	④組織強化	⑤地域住民の参画	⑥人材育成(リーダー・担い手育成)	⑦区長会との連携(協力)	⑧各種団体の連携(協力)	⑨コーディネーター(調整・つなぎ役)
32	32	36	56	140	161	30	58	42

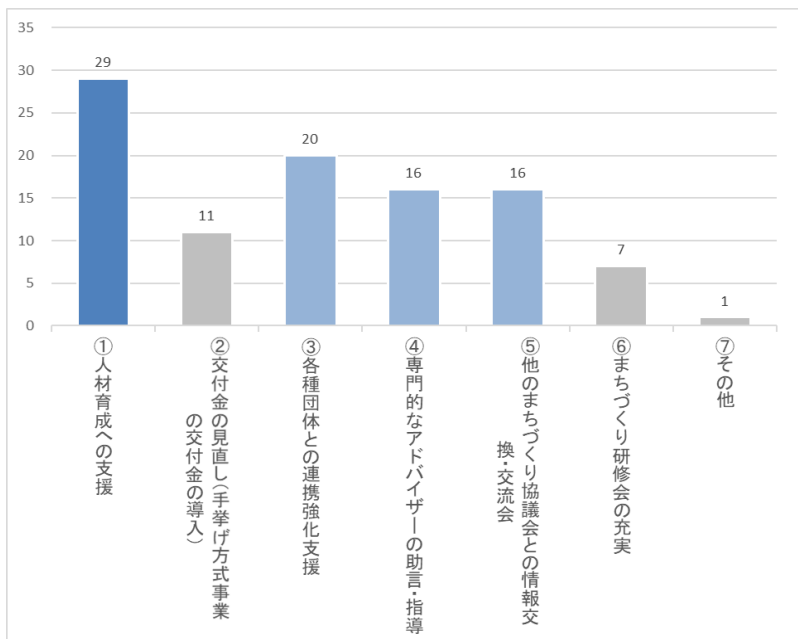
⑩外部(地域以外の人)との連携	⑪小中学校,高校,大学との連携	⑫PR・住民の認知度	⑬事業の企画力	⑭専門的知識・手法	⑮専門的な相談	⑯施設等の整備	⑰その他
22	20	111	61	35	14	13	2



- ・協働のまちづくりを進めるうえで重要と考えるものは、
⑤地域住民の参画が一番多く、次いで⑥人材育成(リーダー・担い手育成)、⑧各種団体の連携(協力)、②財政的支援(交付金)となっている。
- ・協働のまちづくりを進めるうえで課題となっているものは、
⑥人材育成(リーダー・担い手育成)が一番多く、次いで⑤地域住民の参画、⑫PR・住民の認知度となっている。
- ・地域住民の参画と人材育成(リーダー・担い手育成)について、重要性と課題とどちらとも上位になっていることから、これらへの対応が必要と考えられる。

問8 まちづくり協議会への支援について必要と考えるものを、次から2つお答えください。

①人材育成への支援	②交付金の見直し（手挙げ方式事業の交付金の導入）	③各種団体との連携強化支援	④専門的なアドバイザーの助言・指導	⑤他のまちづくり協議会との情報交換・交流会	⑥まちづくり研修会の充実	⑦その他
176	72	126	102	101	42	8



- ・まちづくり協議会への支援について必要と考えるものについては、①人材育成への支援が一番多く、次いで③各種団体との連携強化支援、④専門的なアドバイザーの助言・指導、⑤他のまちづくり協議会との情報交換・交流会となっている。
- ・重要性と課題でも人材育成については上位にきていることから、人材育成への支援は必須と考えられる。

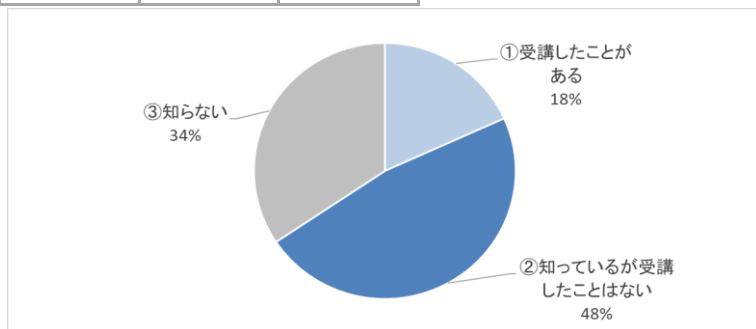
協働のまちづくりについての自由意見

- ・まちづくり協議会について、人材確保、後継者不足、高齢化、若者参画など、人材に関する課題への意見が特に多く見られた。
- ・まちづくり協議会について、事業のマンネリ化や硬直化があり、それらに対する専門的なアドバイス、支援を求める声が見られた。
- ・協働のまちづくり、まちづくり協議会に対して市と市民との間で、その定義や在り方など認識のズレがあるのでは、といった意見が見られた。
- ・協働のまちづくり、まちづくり協議会について市民への認知度、理解度が今だに低い、といった指摘も見られた。

坂井市が行っている事業について

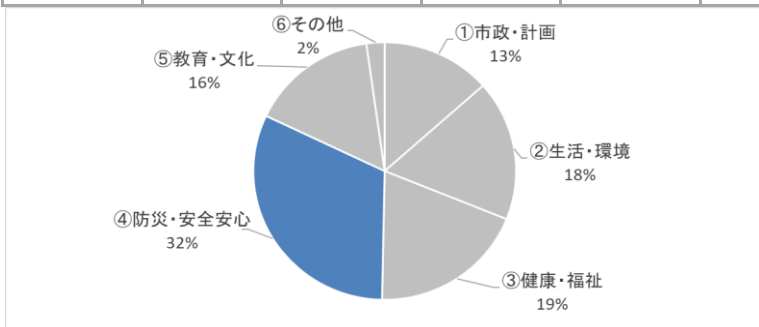
問9 まちづくりパートナーシップ講座をご存じですか。

①受講したことがある	②知っているが受講したことはない	③知らない
59	153	111



問10 まちづくりパートナーシップ講座で聞いてみたいテーマ、内容を、次から1つお答えください。

①市政・計画	②生活・環境	③健康・福祉	④防災・安全安心	⑤教育・文化	⑥その他
42	55	60	99	49	7

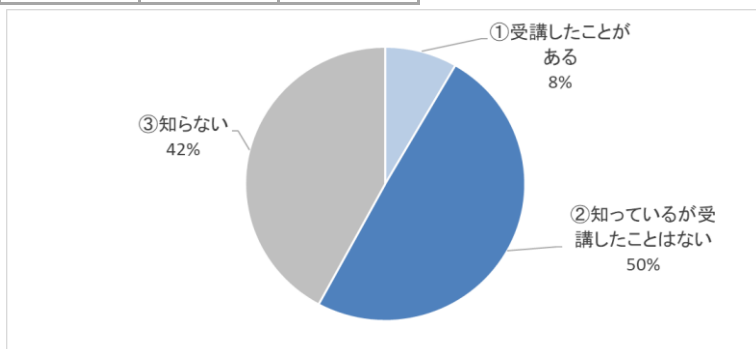


まちづくりパートナーシップ講座について

- ・まちづくりパートナーシップ講座は、②知っているが受講したことはないが一番多く、①受講したことがあると合わせると66%の認知度となっている。
- ・聞いてみたいテーマは、④防災・安全安心が一番多く、その他のテーマではほぼ同じとなっている。

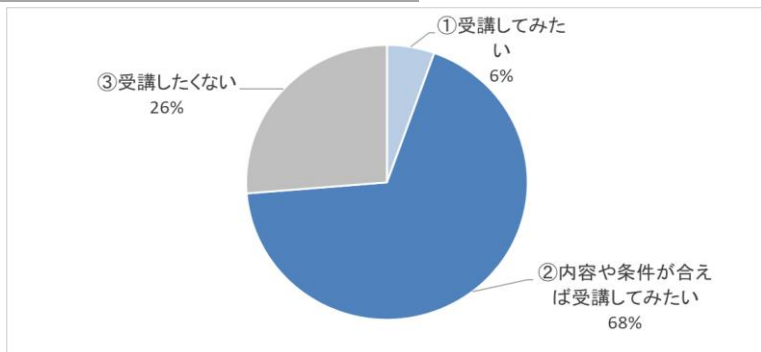
問11 まちづくりカレッジをご存じですか。

①受講したことがある	②知っているが受講したことはない	③知らない
27	160	136



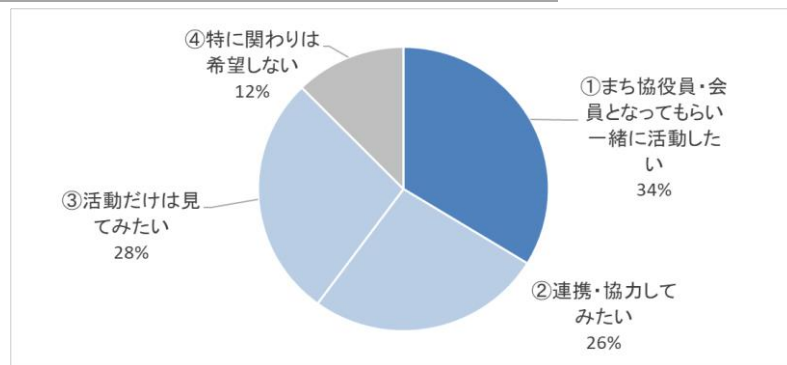
問12 まちづくりカレッジを受講してみたいですか。（問11で受講したことがない場合のみ）

①受講してみたい	②内容や条件が合えば受講してみたい	③受講したくない
16	200	77



問13 まちづくりカレッジ修了生の地域での活動への関わりについて、次から1つお答えください。

①まち協役員・会員となってもらい一緒に活動したい	②連携・協力してみたい	③活動だけは見てみたい	④特に関わりは希望しない
104	81	85	38



まちづくりカレッジについて

- ・まちづくりカレッジは、②知っているが受講したことはないが一番多く、①受講したことがあると合わせると58%の認知度となっている。
- ・まちづくりカレッジを受講してみたいかどうかについては、①受講してみたい②内容や条件が合えば受講してみたいをあわせて74%となっており、一定数の関心があることが伺える。
- ・まちづくりカレッジ修了生の地域での活動への関わりについては、①まち協役員・会員となってもらい一緒に活動したいが一番多く、次いで②連携・協力してみたい、③活動だけは見てみたいとなっている。
- ・①②③合わせて88%となっており、地域での活動への関わりについては肯定的にとらえられている。